

NPO 宮島ネットワーク
令和7年（2025）12月（令和7年度第5回）月例会 議事録

日時 令和7年12月19日（金）午後4時～5時15分

場所 ホテルまこと2階ラウンジ

出席者 12名

挨拶 理事長 今日久しぶりに良い天気、集まるには良かった。先程、おもてなしトイレ2階に写真展の設営がされて、明日から展示が始まる。まだ見ておられない方は、期間中にぜひ見てください。
会員動向

1) おもてなしトイレ2階で活動紹介の写真展示の開催について

期間 2025年12月20日（土）～2026年2月16日（月）、撤収2月17日（火）
テーマ「宮島のシカと植物」、今回はシカに対抗している植物を取り上げた。

- ・取り上げた植物：イワタイゲキ、カンコノキ、ホウロクイチゴ、トラノオジソ
- ・シカが食べないことで有名なアセビについて：アセビ歩道があるように人が植えたと考えられるものが多い。元は自生かもしれないが確認できないので取り上げなかった。

2) NPO のホームページについて

ア) 改訂の内容「シカとサル対策」について年表を作り中で、疑問

- ・解散したエコツーリズム協議会のまとめデータの扱い方
- ・山火事後の1997年からの植林ボランティアに参加した人：無し
- ・植えた苗木の種類？、当時と10年後の新聞記事で種類が違う。
- ・苗木にシカ対策を施したかどうか→シカ対策をしていない筈はない→記事には出てない→書き込んだ営林地図があった。
- ・シカ煎餅の禁止が2007年とあちこちに出ているが根拠が不明。禁止された後も島外から煎餅を売りにきていた記憶があるか？ →営業できない場所での煎餅売りだった、警察の根気づよい指導で止めになった。
- ・2010年からのサルの捕獲・移設は、何年続いたか、何頭が移設されたか？
- ・去年からサルの捕獲を進めているが、成果はどうか？ →問合せ先の情報

イ) ホームページのデザインなど

- ・デザイン変更助成金がでる場合がある。条件などを調べる。
- ・管理担当者との相談が必要がある。

3) 車椅子マップ改訂のための利用者アンケートについて

- ・利用者アンケートを11月03日から1月末まで実施中。
- ・アンケートで修復してほしい道路とか意見を期待。
- ・宮島口観光案内所の貸出し車椅子:3/01~3台、3/11~8台(うち1台は大型)、宮島観光案内所15台
- ・12/19までのアンケート回収数:宮島口25、宮島94

4) アサリ浜について

- ・アサリ浜の覆い網がめくれているところを適時直している。
- ・流れ込んだ土砂で網が埋まっている。3月頃の潮の干満差が大きい時期に網を浮かせるようにしないといけないかもしれない。
- ・5月にアサリ掘りはできるだろう。
- ・暖かくなると毎年5月頃からナルトビエイの群れが宮島周辺にやって来るが今年は大きな群れが見受けられない。水質や餌の減少によるものか?

4) -2 養殖カキがほとんど死滅した件について

- ・今年の夏の高温と小雨が原因なのは間違いないが、兆候は以前からあった。
- ・瀬戸内海のカキ養殖は今年ほとんど死滅しているが、外海に面している福岡の養殖カキなどは豊作。海水の入れ替わりが多くて、沖合に酸素が十分あるところは育っている。
- ・瀬戸内海は外海との接触面が少なく、海水の入れ替わりに3年かかると言われている。海水温が高くなるとなかなか下がらない。
- ・カキ筏の下には、ヘドロがたまって酸素不足、硫化水素が発生しているか?
- ・沖合の海底に棲むナマコ・エビ・カニ類、アナゴなどの生物が獲れなくなった。
- ・カキの間に挟む一番長いパイプが、以前は20cm位あったが、最近は短くなっている(海岸清掃で回収するパイプが)。海底近くのカキが育たないので、カキの間を狭くして、下げるロープを短くしているのだろう。
- ・10年余り前からカキの幼生が異状に増え、アサリ養殖場の防魚網などにも大量に着生するようになった。異常な環境変化に対抗するカキの生態系の種の保存のチカラかも?

4) -3 (報道があった) 尾道市向島のアサリ掘り復活について

- ・これからアサリの稚貝を入手して放流、半年後の春に貝掘りを開始というが?どこから(どこの国)、どのくらいの大きさの稚貝を放流するのか、成長は大丈夫か、興味深い。

5) 廿日市市の入札指定業者に登録

- ・廿日市市の業務を請け負うことができる入札参加資格者として認可された。

- ・ NPO の定款に書いてある事業に参加できるようにした。

6) 広島県環境政策課が実施した「令和7年度広島県環境学習指導者研修」

- ・ 理事1人が上記の講習3回を受講され、修了証を得た。
- ・ 11/23(日)、11/24(祝)、12/14(日)の3回
- ・ テーマ:「気候変動」と「生物多様性」から考える行動につなげる環境学習

7) 包ヶ浦公園の利活用計画

ア) 「宮島包ヶ浦自然公園整備計画に係る第2回ワークショップ」が開催された

- ・ 12月15日(月) 14~16時 廿日市市 包ヶ浦自然公園利活用推進室が開催
- ・ NPOから自然保護部会に参加
 - ・ 現在の建物で残すもの、環境負荷が少ない方法で撤去するものを提案
 - ・ 人工海岸の石垣の外の浜が、整備された時より約4m高くなっている。砂が溜まることで以前は石垣で止められていた軽いプラゴミが石垣を越えて奥へ舞いこんでいる。溜まった砂を沖出しするか、撤去するか、浜の高さを下げる方策を考えるべき。
- ・ 利用促進部会: 包ヶ浦を守る会が参加: 意見がまとまらず
- ・ 誘致事業検討部会: 旅館組合・観光協会: オートキャンプ場案が出ていた